

●復活節後第五主日

泉のほとり

今日の詩篇「第一四四編」

いかに幸いなことか、このような民は、
いかに幸いなことか
主を神といただく民は。



主につながっているよう

聖書はわたしたちと主イエスとの関係を、いろいろな表現で語ります。基本的なものは主と僕です。主イエスはご主人、わたしたちは僕、つまり奴隷です。僕は主人に仕え、主人のために働きます。次は先生と弟子とです。弟子は先生に倣い、先生のようになることを目指します。今日の箇所では「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である」と言われました。主はぶどうの木であり、わたしたちはその枝です。

なぜ主はぶどうの木と言われたのでしょうか。イスラエルにはオリーブの木も、なつめやしの木もあります。でも主は、わたしはオリーブの木とか、なつめやしの木とは言いませんでした。ぶどうの木と言われたのです。なぜでしょうか。

ぶどうの木の特徵は、枝が長いことです。長い枝に葉が茂り、実がなります。ぶどう園に行くと、枝が畑一杯に広がっています。幹は目立ちません。立派なオリーブの木とは、幹が太い木です。でも立派なぶどうの木とは、枝が伸びている木です。そういう意味で、主は、「わたしはぶどうの木」と言われたのです。

品川教会もぶどうの木です。豊かに実をつけた、立派なぶどうの木でしょうか。枝である皆さんは、実を結んでいるでしょうか。もし実がなければ、その枝はぶどうの幹につながっていません。捨てられて、燃やされてしまうでしょう。でも実を結ぶとはどういう

ことでしょうか。

聖書の絵本や絵はがきの絵をたくさん描いた杉田幸子さんという教会員がおられます。彼女が教会に来たのは、酒井さんという教会員との出会いがきっかけです。その時杉田さんは「今日是不思議な人に出会った」と家族に話したそうです。それまで優秀な人や立派な人や、いろんな人に出会って来ましたが、酒井さんのような人に出会ったことがなかったのです。酒井さんは特別な人ではありません。ごく普通の女性です。でも、この人は信仰者だ、と感じさせるものがあつたのです。それが実です。

実を結ぶには、幹につながっていないわけばなりません。主は「わたしの言葉があなただがたの内にもあるならば」と言われました。主につながっていれば、主の言葉がいつも心の中にある人、主につながっている人です。その人は実を結ぶでしょう。

どうすれば主の言葉がいつも心の中にあるでしょうか。それは聞いた主の言葉を、生活の中で生きることです。聞いただけではすぐに忘れてしまいます。でも実行しようと思つたら、その言葉はいつも心の中に留まります。そういう人は、幹である主から豊かな命を受けて、実を結ぶのです。

「わたしにつながっていないさい」とは、つながる努力を求める言葉です。その努力をする人に、主は「わたしもあなたがたにつながっているよ」と言われるのです。

わたしを忘れないで

わたしの神よ、わたしがあなたを忘れても
あなたはわたしを忘れないでください。

わたしがあなたを見捨てても

あなたはわたしを見捨てないでください。

わたしがあなたから離れても

あなたはわたしから離れないでください。

わたしが逃げ出しても呼び戻し

反抗しても引き寄せ

倒れても起き上がらせてください。

わたしの神、主よ、お願いいたします。

いかなるむなししい考えによつても

あなたから遠ざかることのない

目覚めた心を、

いかなるよこしまな意向によつても

ゆがめられることのないまっすぐな心を

いかなる逆境にもめげず

勇敢に立ち向かう強い心を、

いかなる卑しい情欲によつても

打ち負かされることのない自由な心を、

主よ、わたしにお授けください。

主よ、お願いいたします。

あなたを求める意志を

あなたを見いだす希望を

あなたの望まれる生き方を

信仰をもつてあなたを待ち望む堅忍を

そして、ついにあなたを所有できるといふ

信頼心を

主よ、このわたしにお与えください。

平野克己 「祈りのともしび」より

トマス・アクィナスの祈り

今日のお知らせ

○ 礼拝後、教会学校と並行してロビーでの
コーヒーサービスがあります。また園舎二
階のリズム室ではぶどうの会が開かれ、礼
拝で受けた恵みの分かち合いをします。ど
うぞご参加ください。

○ 第二礼拝後、ホールで讚美と報告の会をし
ます。お昼はお弁当です。

○ 午後一時半から、久しぶりにハイデルベル
ク信仰問答を学ぶ会をします。今回は、既
五四〇五六を学びます。どうぞご参加くだ
さい。

○ 午後三時から、役員会の運営委員会、礼拝
伝道委員会、教育奉仕委員会がそれぞれ開
かれます。

○ 先週五月一日(火)に帰天された金慶得兄
の葬式が、昨日午後二時から礼拝堂で行わ
れました。

讃美歌21 57番

GARIRAYA NO KAZE

世：藤田尚英、1935-

詞：別府信男、1913-

ガリラヤの かぜ かおる おか で - ひと
ひとには なされた めぐみの みこと
ばを、 わたしにも きかせて ください。

(♩=94)

アーメン。

聖書の会へどうぞ

5月9日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「髪を切った」

使徒18章18〜23節

黄允湜 副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「罪との戦いのとき」

ルカ22章35〜38節

吉村和雄 牧師

ミニコンサート

5月17日(木) 12時30分

「クラヴィーアと

ヴァイオリンのためのソナタ

ヴァイオリン演奏 山本美樹子

ト長調 他

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌22番 ガリラヤの風

説教「主イエスの執り成しの祈り」

聖書ヨハネ17章6節〜13節

説教者 吉村和雄 牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌159番 335番

詩編第144編

説教「病を負われた」

聖書マタイ8章14節〜17節

説教者 黄允湜 副牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 22番

ガリラヤの風

説教 「真理の霊が来られる」

聖書 ヨハネ16章12節～24節 (新約P200)

司式 森 洋之 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄 允浚 副牧師

前奏曲「メヌエット」J.S.バッハ

○ 讃美歌 22番

- 1.めさめよわがたま あさひにともない
あしたのほめうた みまえにささげよ
- 2.むなしくすごしし ときをばつぐのい
ちからのかぎりに みわざをつとめよ
- 3.うえよりたまわる たからをもちいて
おわりのさばきに かしこみそなえよ
- 4.かくるものをも 主はしりたまへば
ことばとおもいを ひたすらきよめよ
- 5.めさめよわがたま この日もひねもす
みくにをのぞみて いそしみはげめや

アーメン

○ オルガンによる讃美

「かい主わが主よ」 D.ワグネル 讃美歌352番

○ 讃美歌21 57番 (3面に楽譜があります)

- 1.ガリラヤの風かおる丘で
ひとびとに話された めぐみのみことばを
わたしにも聞かせてください。
- 2.あらしの日波たけるうみで
弟子たちにさとされた ちからのみことばを
わたしにも聞かせてください。
- 3.ゴルゴタの十字架のういで
つみびとをまねかれた すくいのみことばを
わたしにも聞かせてください。
- 4.夕ぐれのエマオへの道で
弟子たちに告げられた いのちのみことばを
わたしにも聞かせてください。 アーメン

聖餐曲「アレグレット」L.バグニ

後奏曲「フーガ変ホ長調」W.A.モーツァルト

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 152番 346番

詩編 第144編 (旧約P984)

説教 「この方が、わたしたちの主」

聖書 ローマ1章1節～7節 (新約P273)

司式 森 洋之 兄

説教者 聖餐司式 吉村 和雄 牧師

前奏曲「前奏曲ト長調」J.S.バッハ

○ 讃美歌 152番

○ オルガンによる讃美

「かい主わが主よ」 D.ワグネル 讃美歌352番

○ 聖歌隊による讃美

「全能なる永遠の主よ」 B.J.リッ

全能なる永遠の主よ

われらのよわきをかえりみ

あやうきと災いより み手をもって 救い給え

み名によりて アーメン

○ 讃美歌 346番

聖餐曲「オッフエルトアール」C.ザンサー

後奏曲「フーガ変ホ長調」W.A.モーツァルト

*礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。